

# 王滝村における森林・林業体験交流促進対策事業の取組について

木曾森林管理署 業務グループ ○松原 まさし  
木曾森林管理署 業務グループ たきもと 正志  
灌本 りりこ

## 要旨

王滝村にある豊かな自然環境を利用した体験活動を行う、森林環境教育の取組について報告します。

## はじめに

近年、森林に求められる働きは、林産物供給のほか、災害を未然に防ぐ働きや地球環境の保全機能に対する期待が高くなっています。そこで木曾森林管理署は、森林の特徴や山地保全の重要性を学習することが可能な体験プログラムやフィールド整備、森林環境教育学習教材を作成し、王滝村の国有林を利用した森林環境教育を効果的に進めるため、森林・林業体験交流促進対策事業を実施しています。

森林・林業体験交流促進対策事業は、森林・林業体験活動の場所としてふさわしい豊かな森林環境がある国有林や、地元自治体との連携体制が整っている場所において、学習体験プログラム・フィールドの整備や団体等に対して地域の情報を説明するための資料を作成することで、国有林を利用した森林環境教育の一層の促進を図る取組です。

## 1 取組場所と期間

今回取り組んだ場所は、長野県の南西部に位置し、森林面積が 29,799ha と森林率が約 96% を占めている王滝村で (図 1)、平成 26 年度から平成 31 年度を期間として実施しています。王滝村には、御嶽山登山道王滝口にあるハイマツを主体とした植生の田の原天然公園 (田の原地区)、木曾谷の代表樹種である木曾ヒノキを主体とした天然林 (瀬戸川 (東俣) 地区)、王滝村西部地震土石流被害から森林に復旧した跡地 (濁川地区) などの特徴がある国有林が存在しています (図 2)。また、中部圏内の小中学生や下流域の地方公共団体と連携した体験交流活動に積極的に取り組んでいることから、これらの



図 2 王滝村内の国有林: 左 田の原地区、中 瀬戸川地区、右 濁川地区

した交流を実施することで、国有林を利用した森林環境教育が効果的に行えるとともに、地域の振興にも寄与することが期待されます。

## 2 取組の内容

木曾森林管理署、木曾森林ふれあい推進センター、木曾地域振興局、王滝村、地元団体等の関係者が委員となる検討委員会を開催してきました。森林の特徴、森林保全の重要性を学ぶための、遊歩道・案内板等の体験フィールド整備の検討、森林環境教育の促進のために、地域の情報を提供する学習教材資料の作成等を進めています。

## 3 経過報告

当事業を円滑に進めるために、体験メニューを考え、地域が行う受入体制の設置を支援するための受入協議部会、地域の学習が可能な自然散策ルート等の整備を実施する施設整備部会、地域の情報を学習教材資料として配布するための学習教材部会の3部会を設置し、各事業の方針等を検討委員会(図3)で決議する体制としました。



図3 検討委員会の様子

また、老朽化した木製遊歩道の撤去・新設(図4)、木製橋梁改修(図5)や森林の特徴等をわかりやすく説明する内容の案内板設置(図6)や王滝村の地勢、すんきやほうば巻などの郷土食、低山帯から高山帯までに生息・生育している動植物の紹介、自然体験メニューの情報を一冊に掲載し、小学校高学年以上を対象とした「御嶽山麓の王滝村での豊かな自然体験」(図7)を作成しました。

これらの取組効果として、地区周辺の施設整備を実施したことにより、植生遷移等を学ぶ場として活用され、地震や噴火などの自然災害によって発生した土石流被害の状況、森林荒廃状態から回復した植生の変遷等の治山事業の重要性の理解が深まり、自然災害に対して防災意識の向上が期待されます。また、作成した教材が下流域住民と交流の際、王滝村を紹介する広報資料として利用され、さらに交流が発展することを期待しています。



図4 改修前後の木製歩道状



図5 改修前後の木製橋梁状



図6 案内板設置

図7 学習教材「御嶽山麓の王滝村での豊かな自然体験」

また、王滝村の「田の原地区、濁川地区、瀬戸川（東俣）地区」の3エリアを利用して、亜高山帯から高山帯までの森林環境の遷移や、長野県西部地震で発生した土石流に被害についての学習や、木曾谷の代表的な樹種である木曾ヒノキを中心とした多様な天然林の紹介、長野県西部地震の土石流被害によって、森林が荒廃状態であった場所が緑で覆われ森林に復旧した姿や治山事業について紹介することで、標高差による生態系の違い、自然災害により森林荒廃から復旧した姿、多様な樹種の将来森林イメージ、自然災害の規模・脅威を理解し、各地区の森林の特徴を関連づけた内容の森林環境教育がこれらのフィールドで実施されることを期待しています（図8）。

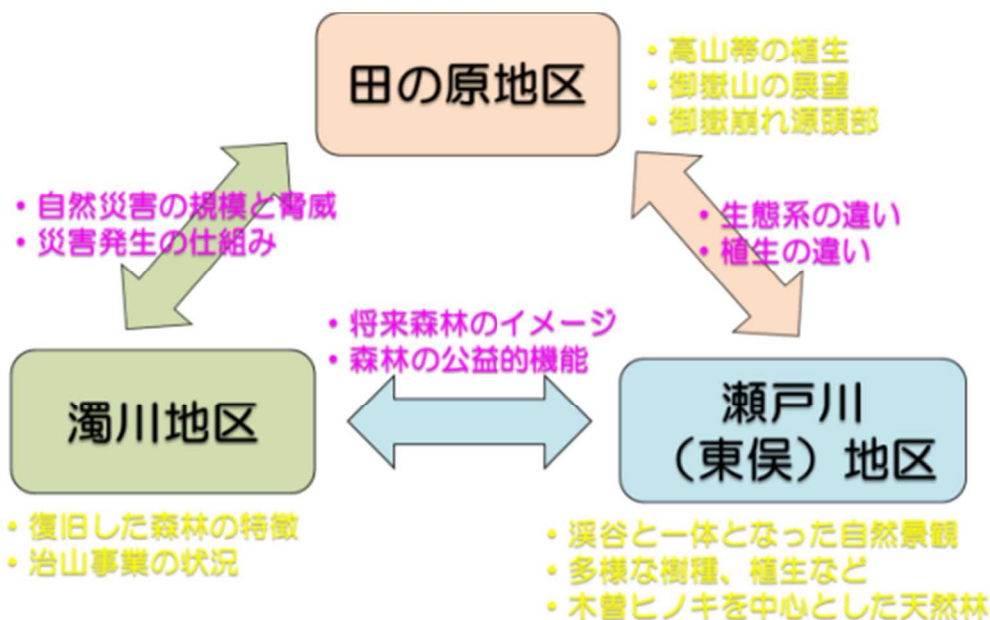


図8 地区ごとの学習内容イメージ

おわりに

この活動内容の充実を図るため、エリアを利用した体験メニュー作成に取り組みます。今後も、利用者の安全性が確保できるように遊歩道や案内看板等の整備を進めていき、王滝村や地元団体等が行う、新たな観光ツアー拠点の構築に協力し、地域一体となり国有林を利用した森林環境教育を実施することで、地域振興につなげていきたいと考えています。